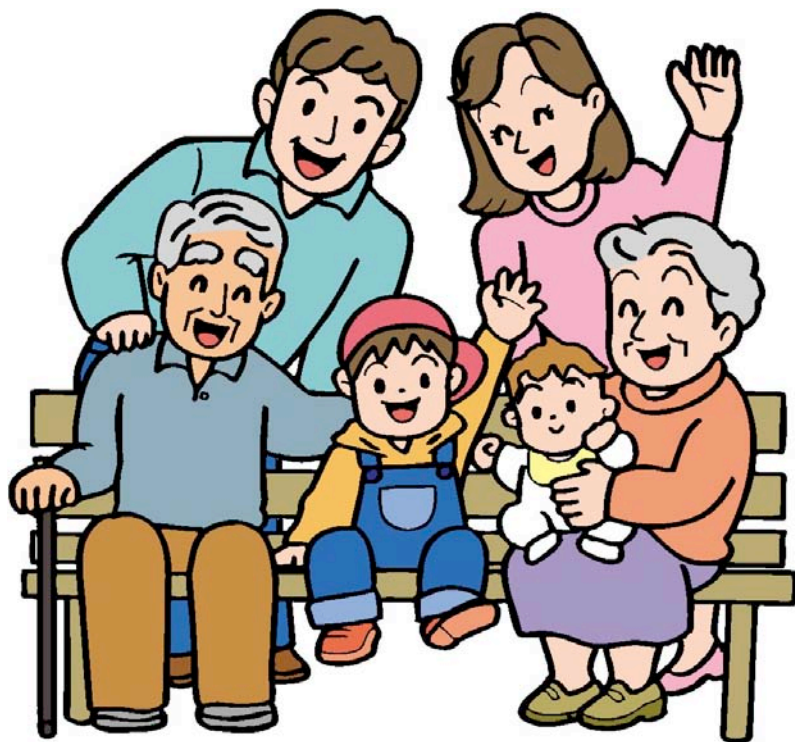


平成25年度予算概要

「安全・安心」「魅力」「健康」

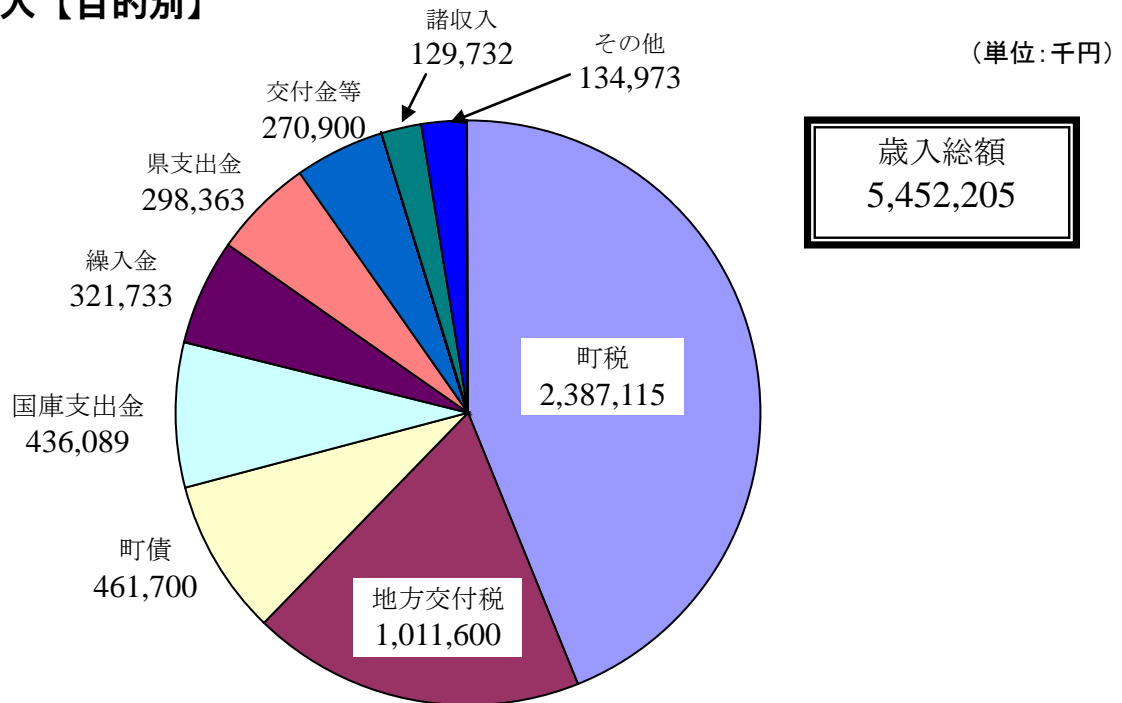


酒々井町

I 平成25年度の一般会計予算

平成25年度の一般会計の歳入歳出の予算を円グラフと表で現し、平成24年度の当初予算額との比較をしています。歳出は、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表で比較しました。

1. 歳入【目的別】



平成25年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

歳入総額は、54億5,220万5千円となり、対前年度比2億9,725万7千円、5.2%の減となっています。

町税については、景気回復の遅れや課税対象者である生産年齢人口の減少があるものの、個人住民税が税制改正による年少扶養控除の廃止などの影響を受けてやや増加する見込みです。また、法人町民税、固定資産税及びたばこ税も増加となる見込みから対前年度比3,958万9千円、1.7%増の23億8,711万5千円を見込んでいます。

地方譲与税及び各種交付金については、配当割交付金を除き、軒並み減少する見込みとなり、特に地方消費税交付金の落ち込みが多いことから、交付金等全体で2,580万円の減収を見込んでいます。

地方交付税については、国の予算総額が減少となる見込みであることから、対前年度比1,740万円、1.7%減の10億1,160万円を見込んでいます。

国庫支出金については、社会資本整備総合交付金の減少や本佐倉城跡用地購入事業債元利償還補助金が終了したことが影響し、対前年度比1億1,442万円、20.8%減の4億3,608万9千円となっています。

県支出金については、緊急雇用創出補助金の減少や酒々井インターチェンジ関連道路整備事業終了による県負担金の減少等により対前年度比1億1,424万1千円、27.7%減の2億9,836万3千円となっています。

繰入金については、東日本大震災復興基金や財源調整となる財政調整基金からの繰入が増

加したものの、酒々井ちびっこ天国基金からの繰入が大きく減少した影響で、対前年度比1,310万8千円、3.9%減の3億2,173万3千円となっています。

繰越金は、厳しい財政事情の中、歳出額を精査して最小限の予算としているため、前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

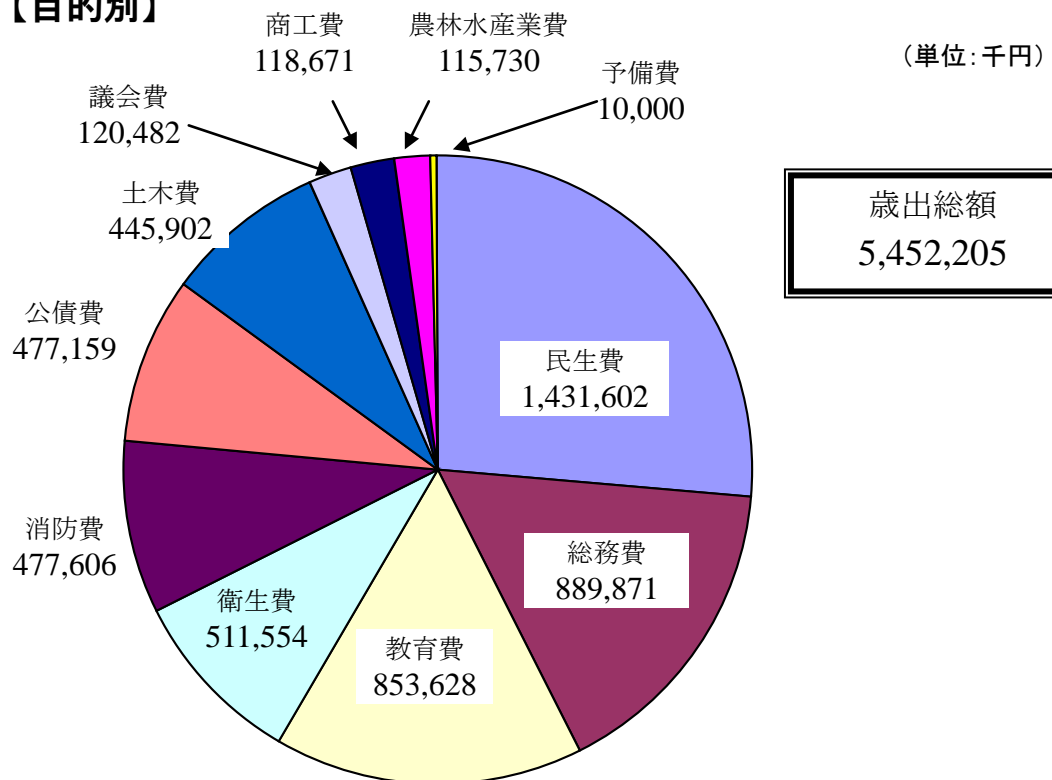
町債については、消防防災施設整備事業債が増加したものの、地方道路整備事業債の減少により対前年度比4,840万円、9.5%減の4億6,170万円となっています。

表1 平成25年度一般会計 歳入（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成25年度 当初予算額	構成比	平成24年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,387,115	43.8	2,347,526	40.8	39,589	1.7
2 地 方 譲 与 税	65,600	1.2	69,900	1.2	△ 4,300	△ 6.2
3 利 子 割 交 付 金	5,700	0.1	6,000	0.1	△ 300	△ 5.0
4 配 当 割 交 付 金	5,600	0.1	5,200	0.1	400	7.7
5 株式等譲渡所得割交付金	1,600	0.0	1,900	0.0	△ 300	△ 15.8
6 地方消費税交付金	153,400	2.8	164,000	2.9	△ 10,600	△ 6.5
7 自動車取得税交付金	19,000	0.3	25,700	0.4	△ 6,700	△ 26.1
8 地方特例交付金	16,400	0.3	20,000	0.3	△ 3,600	△ 18.0
9 地 方 交 付 税	1,011,600	18.6	1,029,000	17.9	△ 17,400	△ 1.7
10 交通安全対策特別交付金	3,600	0.1	4,000	0.1	△ 400	△ 10.0
11 分担金及び負担金	55,522	1.0	55,511	1.0	11	0.0
12 使用料及び手数料	44,876	0.8	45,550	0.8	△ 674	△ 1.5
13 国 庫 支 出 金	436,089	8.0	550,509	9.6	△ 114,420	△ 20.8
14 県 支 出 金	298,363	5.5	412,604	7.2	△ 114,241	△ 27.7
15 財 産 収 入	4,573	0.1	3,803	0.1	770	20.2
16 寄 付 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	321,733	5.9	334,841	5.8	△ 13,108	△ 3.9
18 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.5	0	0.0
19 諸 収 入	129,732	2.4	133,316	2.3	△ 3,584	△ 2.7
20 町 債	461,700	8.5	510,100	8.9	△ 48,400	△ 9.5
合 計	5,452,205	100.0	5,749,462	100.0	△ 297,257	△ 5.2

2. 歳出【目的別】



平成25年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

歳出の総額は、歳入と同額の54億5,220万5千円となり、対前年度比2億9,725万7千円、5.2%の減となっています。

議会費は、対前年度年比23万5千円、0.2%増の1億2,048万2千円となっています。

総務費については、参議院議員選挙費769万4千円、酒々井町長選挙費597万3千円、役場庁舎改修事業2,250万4千円、東日本大震災復興基金積立金1,000万円、土地評価替業務207万9千円の増加、また、千葉県知事選挙費670万4千円の減少等により対前年度比7,386万3千円、9.1%増の8億8,987万1千円となっています。

民生費については、総合支援(旧自立支援)給付事業712万5千円、身障者施設措置費1,798万4千円、後期高齢者医療事業1,114万1千円、国民健康保険特別会計繰出金350万円、介護保険特別会計繰出金1,587万8千円、酒々井の里山林協働再生事業402万8千円の増加、また、社会福祉施設等整備費補助事業3,000万円、児童手当支給事業1,396万5千円、保育園事業1,344万8千円の減少等により対前年度比179万5千円、0.1%減の14億3,160万2千円となっています。

衛生費については、子ども医療費助成事業2,322万4千円、成田赤十字病院医療機器整備事業320万9千円、住宅用太陽光発電設備導入促進事業210万円、葬祭組合負担金236万2千円、衛生施設管理組合負担金276万6千円の増加、また、印旛広域水道事業費718万4千円の減少等により対前年度比673万4千円、1.3%増の5億1,155万4千円となっています。

農林水産業費については、農業用施設等災害復旧事業300万円、農業基盤整備事業73万4千円の減少等により対前年度比375万2千円、3.1%減の1億1,573万円

となっています。

商工費については、酒々井プレミアム・アウトレット内「酒々井コミュニケーションセンター」の設置等から観光事業1,744万6千円、酒々井ブランド創出事業66万4千円の増加、また、酒々井ちびっこ天国運営事業4,220万3千円の減少等により対前年度比2,245万6千円、15.9%減の1億1,867万1千円となっています。

土木費については、道路改良事業2,392万8千円、交通安全対策事業153万4千円、防犯街灯整備事業713万9千円、街区公園管理事業702万4千円の増加、また、酒々井IC関連である地域活性化事業2億7,928万9千円、橋梁補修事業3,121万8千円、中央台公園防災等再生事業2,000万円、下水道事業会計繰出金3,412万4千円の減少等により対前年度比3億5,317万3千円、44.2%減の4億4,590万2千円となっています。

消防費については、新規事業として、防災トイレの整備、災害対策用浄水器整備、自主防災組織貸出支援など消防・防災事業として1,280万3千円の増加等により対前年度比858万5千円、1.8%増の4億7,760万6千円となっています。

教育費については、私立幼稚園就園奨励費補助金100万1千円、保小中連携事業活動補助金30万円、本佐倉城跡整備事業415万円、中央公民館エレベーター改修工事995万4千円の増加、また、酒々井小学校借地買取事業2,473万7千円、中央公民館耐震診断事業827万4千円の減少等により対前年度比990万9千円、1.2%増の8億5,362万8千円となっています。

公債費については、史跡本佐倉城跡用地先行取得事業の償還が終了したことなどから、対前年度比1,540万7千円、3.1%減の4億7,715万9千円となっています。

表2 平成25年度一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成25年度 当初予算額	構成比	平成24年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議 会 費	120,482	2.2	120,247	2.1	235	0.2
2 総 務 費	889,871	16.3	816,008	14.2	73,863	9.1
3 民 生 費	1,431,602	26.3	1,433,397	24.9	△ 1,795	△ 0.1
4 衛 生 費	511,554	9.4	504,820	8.8	6,734	1.3
5 農 林 水 産 業 費	115,730	2.1	119,482	2.1	△ 3,752	△ 3.1
6 商 工 費	118,671	2.2	141,127	2.4	△ 22,456	△ 15.9
7 土 木 費	445,902	8.2	799,075	13.9	△ 353,173	△ 44.2
8 消 防 費	477,606	8.8	469,021	8.2	8,585	1.8
9 教 育 費	853,628	15.6	843,719	14.7	9,909	1.2
10 公 債 費	477,159	8.7	492,566	8.5	△ 15,407	△ 3.1
11 予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合 計	5,452,205	100.0	5,749,462	100.0	△ 297,257	△ 5.2

表3 平成25年度一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円、％）

項目	平成25年度 当初予算額	構成比	平成24年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,520,958	27.9	1,492,673	26.0	28,285	1.9	
2 扶助費	668,889	12.3	633,608	11.0	35,281	5.6	
3 公債費	477,159	8.7	492,566	8.5	△ 15,407	△ 3.1	
義務的経費小計	2,667,006	48.9	2,618,847	45.5	48,159	1.8	
4 物件費	985,092	18.1	924,995	16.1	60,097	6.5	
5 維持補修費	13,264	0.2	17,467	0.3	△ 4,203	△ 24.1	
6 補助費等	791,077	14.5	791,647	13.8	△ 570	△ 0.1	
経常的経費小計	4,456,439	81.7	4,352,956	75.7	103,483	2.4	
7 普通建設事業費	420,471	7.7	817,641	14.2	△ 397,170	△ 48.6	
内訳	補助事業費	142,092	2.6	494,885	8.6	△ 352,793	△ 71.3
	単独事業費	278,379	5.1	322,756	5.6	△ 44,377	△ 13.7
8 積立金	40,366	0.7	32,576	0.6	7,790	23.9	
9 投資及び出資金	9,511	0.2	16,298	0.3	△ 6,787	△ 41.6	
10 貸付金	3,000	0.1	3,000	0.0	0	0.0	
11 繰出金	512,418	9.4	516,991	9.0	△ 4,573	△ 0.9	
12 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0	
合計	5,452,205	100.0	5,749,462	100.0	△ 297,257	△ 5.2	

性質別歳出（表3）を見ると、経常的経費のうち義務的経費では、史跡本佐倉城跡用地取得に係る公債費が減少しています。人件費については、職員の昇給等による増加、扶助費は児童手当が減少しているものの、子ども医療費や総合支援給付費等が増加したことで、義務的経費は対前年度比4,815万9千円、1.8%増の26億6,700万6千円となりました。

物件費については、電気料金値上げ等による増加、酒々井プレミアム・アウトレット内「酒々井コミュニケーションセンター」の設置等による委託料等が増加したことで対前年度比6,009万7千円、6.5%増の9億8,509万2千円となりました。

普通建設事業費については、酒々井IC関連である地域活性化事業をはじめとする社会資本整備総合交付金事業等の減少から、対前年度比3億9,717万円、48.6%減の4億2,047万1千円となりました。

積立金については、東日本大震災復興基金積立金の増加により、対前年度比779万円、23.9%増の4,036万6千円となりました。

繰出金については、下水道事業への繰出金が減少したことなどから対前年度比457万3千円、0.9%減の5億1,241万8千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。医療給付費や介護給付費等の増加など、下水道事業特別会計を除いた各特別会計は年々増加しています。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成25年度 当初予算	平成24年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,488,499	2,431,958	56,541	2.3
下水道事業特別会計	403,686	574,045	△ 170,359	△ 29.7
介護保険特別会計	1,081,493	954,367	127,126	13.3
後期高齢者医療特別会計	162,947	153,359	9,588	6.3
計	4,136,625	4,113,729	22,896	0.6

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成25年度 当初予算	平成24年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	510,920	483,298	27,622	5.7
営業収益	482,968	465,145	17,823	3.8
営業外収益	27,952	18,153	9,799	54.0
水道事業費用	431,264	423,163	8,101	1.9
営業費用	378,246	371,554	6,692	1.8
営業外費用	51,018	49,609	1,409	2.8
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	46,558	107,342	△ 60,784	△ 56.6
分担金及び負担金	46,558	107,342	△ 60,784	△ 56.6
資本的支出	358,235	509,463	△ 151,228	△ 29.7
建設改良費	260,723	415,797	△ 155,074	△ 37.3
企業債償還金	95,512	91,666	3,846	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

IV 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金です。

過去の借金の返済は進んでいますが、近年は町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。（単位：千円）

会計名	平成24年度末見込額	平成25年度中の増減	平成25年度末見込額
一般会計	4,714,156	45,054	4,759,210
下水道事業特別会計	1,111,389	△ 50,424	1,060,965
水道事業会計	1,146,707	△ 95,512	1,051,195
計	6,972,252	△ 100,882	6,871,370

V 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	平成24年度末見込額	平成25年度中増減見込額	平成25年度末見込額
1. 財政調整基金	877,641	△ 249,897	627,744
2. 減債基金	630	1	631
3. 都市開発基金	30,574	26	30,600
4. 地域福祉基金	11,852	4	11,856
5. 児童・生徒国際交流振興基金	14,284	△ 1,396	12,888
6. ちびっこ天国基金	322,420	△ 14,436	307,984
7. 農業基盤整備基金	60,051	20,049	80,100
8. 東日本大震災復興基金	19,004	△ 1,219	17,785
9. 社会資本等整備基金	10,000	0	10,000
10. 土地開発基金	2,506	1	2,507
計	1,348,962	△ 246,867	1,102,095

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成24年度末見込額	平成25年度中増減見込額	平成25年度末見込額
1. 財政調整基金	23,530	△ 20,268	3,262
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	26,530	△ 20,268	6,262

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成24年度末見込額	平成25年度中増減見込額	平成25年度末見込額
1. 介護給付費準備基金	201,338	△ 16,552	184,786

【下水道事業特別会計】

（単位：千円）

基金名称	平成24年度末見込額	平成25年度中増減見込額	平成25年度末見込額
1. 下水道事業基金	87,008	△ 47	86,961

※平成24年度末見込額は、平成25年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

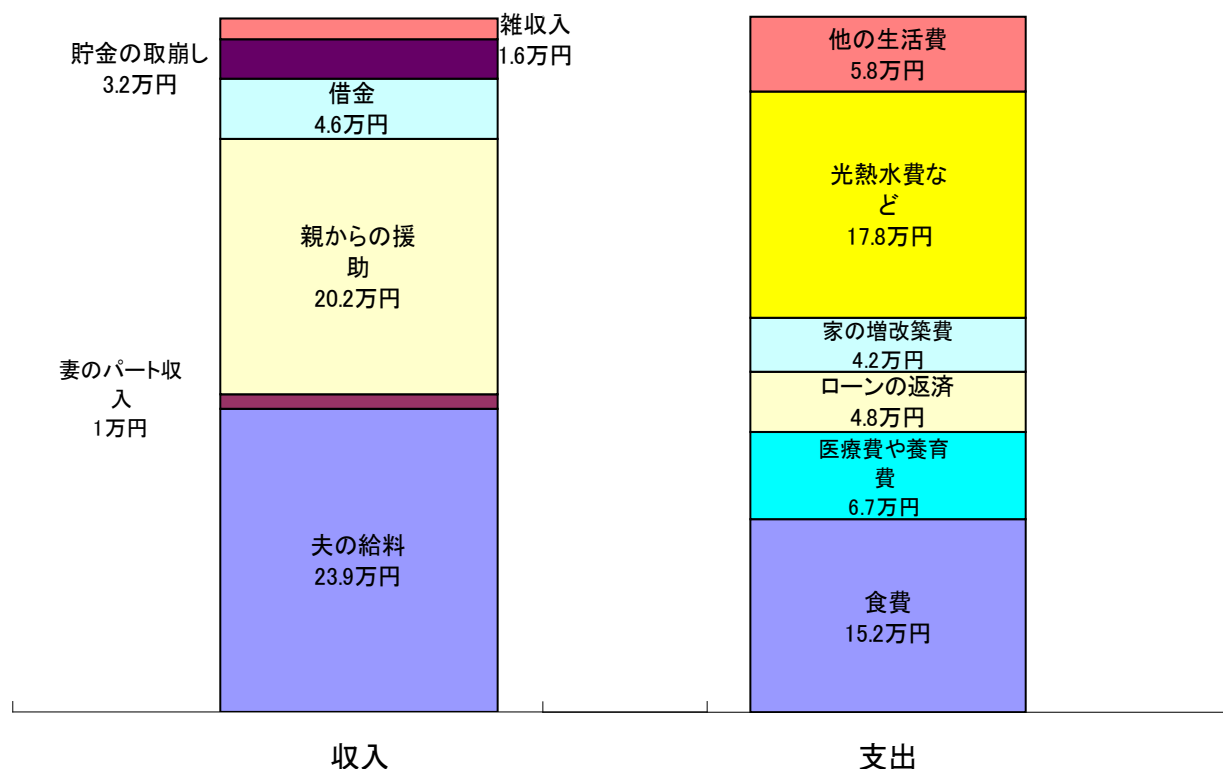
VI 平成25年度の酒々井さん家の家計

平成25年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。

酒々井さんの月収（町税収入）は23万9千円で、昨年度から4千円の給料アップとなりそうです。そして、奥さんのパート収入（施設使用料、手数料など）は1万円で同額ですが、親からの援助（交付税、国・県補助金など）は20万2千円で、昨年度から2万7千円減ることになりそうです。不足分は、貯金の取り崩し（基金繰入金など）、さらに借金（町債）をして家計をやりくりしています。

食費（給料、報酬などの人件費）は昨年度から3千円増え、医療費や養育費（医療費助成や児童手当などの扶助費）も4千円増え、光熱水費も5千円増える見込みから、増改築（道路などの建設改良費）に使えるお金は4万円減ることになり、家計はさらに苦しくなりそうです。

過去の借金（町債残高）は47万1千円から5千円増えて47万6千円になる見込みですが、月々の返済額は4万9千円から1千円減り、4万8千円になる見込みです。



VII 平成25年度の国から町への財源補てん（親からの援助）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「減税補てん債（平成18年度をもって制度廃止）」や「臨時財政対策債」などの借入金に振り替えられています。

平成25年度の国からの財源補てんについて、地方交付税と臨時財政対策債への振替などにより、14億100万円を見込んでいます。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
普通交付税	662	695	553	623	698	771	897	1,005	992	947
特別交付税	117	93	83	79	103	110	124	150	64	64
減税補てん債	48	32	25							
臨時財政対策債	357	274	258	235	220	321	427	390	389	390
計	1,184	1,094	919	937	1,021	1,202	1,448	1,545	1,445	1,401

※ 平成16年度から平成23年度までは決算額で、平成24年度は決算見込額、平成25年度は予算額です。